

OHHのご支援に心から感謝します!

あなたのお陰で、2017年OHH(オペレーション・ホリデー・ホープ)は新たな歴史を刻みました!
25万3,102人もの子どもたちが、クリスマスを祝うことができたのです!



ニューヨーク、南アフリカ、フィリピン、ケニア、インド、ルーマニア…昨年12月は記録的な人数の子どもたちがメトロのクリスマスに集い、祝いました。かつてない規模のOHHです。きれいに包まれた贈り物、クリスマス用の食事、新品の防寒靴…国によってプレゼントは様々ですが、世界中の子どもたちが一様にクリスマスの喜びを味わい、イエス・キリストの誕生の物語を聞くことができました。

この大成功の陰にはご寄付くださった方や各地から集まってくれたボランティアの尽力がありました。皆様のご協力なしには成し得なかった大事業です。メトロのパートナーは本当に最高です!

そしてあなたは、かつてないほど助けが必要だったメトロにとって、大きな力となってくださいました。昨秋、ビル師がシリア国境における人道支援と日曜学校の活動の最中に背中を銃撃され、例年ならOHHの成功の柱となるはずの各地での講演やテレソン(チャリティTV番組)の予定を中止せざるを得なかったからです。

しかしその損失分も、惜しみなく協力してくださるあなたのような方からのご支援のお陰で埋めることができ、OHHは大成功を収めたのです。あなたの真心は子どもたちに伝わり、子どもたちは自分が特別な存在だと感じることができました。また、自分を心配してくれる人の存在と、キリストの愛を実体験することができたのです! 何度も申し上げますが、本当に、あなたがいてくればこの成果は実現できませんでした。ご支援いただいた子どもたち一人一人に代わって、また、メトロスタッフ全員を代弁して申し上げます。感謝します! 祝福がありますように!

クリスマスのためのご支援とお祈りに感謝申し上げます。ビル師の銃撃事件以来、多くの方々からビル師の快復の状況やOHHのための献金の集まり具合をご心配いただき、お問い合わせをいただいております。

皆様の熱心なお祈りと精一杯のご支援により、OHHは大成功の内に終わることができました。日曜学校のクリスマスプログラムに参加できてプレゼントを受け取った子どもの数は、最終的には昨年を2万人以上、上回っていました。また、ビル師も順調に快復して働きを続けております。皆様の祈りと助けに改めて心からお礼申し上げます。

フィリピンツアー!

お申し込み〆切は3月5日です。

イースターバスケット!

お申込書をご覧の上、
3月10日までにお申し込みください。

今月号の目次

P2…イースターバスケット案内/
フィリピン訪問レポート

P3…フィリピン訪問レポート/
フィリピンツアー案内

P4…日本事務所からの最新情報
連絡先など基本情報

今年のイースターは4月1日!

主が生きておられる からです!

私たちの救いのために、そのひとり子を十字架で死なせるためにこの世に送られたという、この事実以上に神様の愛を力強く示すものはありません。この春、私たちは子どもたちに、赦しと永遠の命という贈り物が、イエスのよみがえりによって与えられたことを伝えます。イースターバスケットをご支援いただければ、子どもたちはそれを家に持ち帰ってこの贈り物を思い出すことができます。ニューヨークの子どもたちが、神様から人へ与えられた最高の贈り物を祝えるようにご支援ください。

申込用紙をご確認の上、
3月10日までにお申し込みください。



イエスは言われた。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。
わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。
また、生きていてわたしを信じる者は、決して

死ぬことはありません。

このことを信じますか。」

(ヨハネ 11:25-26)



フィリピン訪問レポート

今回は、お仕事でご都合などのため、昨年11月にフィリピンのメトロを見学されました大倉様からのレポートをお届けします。現地では、大型連休の時期で残念ながら教会学校は休みでした。

はじめに、フィリピンに導き、素晴らしい出会いや経験をさせてくださった主に感謝します。11月にメトロ・フィリピンを訪問させていただきました。今回は残念ながら、あちらの連休(祝日)と重なり教会学校の様子は直接見られませんでした。スタッフやインターンの方々と家庭訪問に行ったり、道端学校で必要なものの準備を手伝わせていただきました。

初日は市内から約30分の所にあるスラムへ家庭訪問をしました。私自身、発展途上国を訪れるのは初めてですが、テレビや本などで目にしたことのある環境だろうと思っていました。

しかし、実際に目の前に広がる光景や人々の生活は想像以上で、とてもショックを受けました。そこら中ゴミだらけで臭いがひどく、野良犬がうろろし、人々は“家”と呼べるような場所に住んでいません。酷い表現になりますが、日本の小学校にある飼育小屋のような家々もあり、私たち日本人はそこで1泊することも不可能だと感じました。そのような不衛生で劣悪な環境とは対照的に、子どもたちは笑顔で純粋でとても人懐っこく、驚くことに誰もお金をねだることもありませんでした。彼らはお金より、日々生きていくための食べ物や衣服を必要としていて、“生と死”の間で精一杯生きているんだと実感しました。



子どもたちの中には服がなく裸で泥だらけになって泣いている子どもや、障害をもつ子ども、顔に大きなアザがある子どももいました。また、フィリピンは子どもの数がとても多く、一家族に子どもが10人いることも普通だそうです。しかし、貧しい中で子どもが増えていくと生活がどんどん苦しくなり、悲しいことに、生まれてくる赤ちゃんを“悪魔”と呼ぶ親も少なくないそうです。私たちは家々を回りながら、聖書の絵本を一緒に読んだり、心身や家族のことなど悩みを抱えている方々の話を聞いてお祈りしたり、道端学校をまだ知らない人々に知らせたり、様々な活動をしました。道中、一人の老婆が生後間もない赤ちゃんのお世話をしていたので、「その子の母親はどこにいるの?」と尋ねたところ、「刑務所に入っている。いつ戻れるのかわからず、とても寂しい…」と返答がありました。母親は、食べ物を得るために物を盗み、警察に捕まってしまったそうです。彼女や家族が生きていくためには、盗むしか選択肢がなかったのだろうと思うと心が痛くなりました。

タガログ語で書かれた聖書の絵本を年上の女の子がみんなに読み聞かせてくれています。

子どもたちは興味津々で、聖書の物語に夢中です。



メトロ・フィリピンでは週に1回家庭訪問、2～3回スラムで道端学校を開き、子どもたちに楽しい方法で聖書を教えたり、ほかの団体と協力して何千人にも食べ物を配っているそうです。また、“ナイトトレーニング”という、片道約5時間かかる場所にある教会にも出向き、メトロの伝道方法を伝えて訓練するという活動もあり、その日は早朝に出発し午後11時頃に帰ってくるそうです。

現地のスタッフやインターンはゆっくり食べたり休む時間もなく、日々汗を流してきたくたになるまで働いていますが、子どもたちと接するときは全く疲れを見せず、いつも神様の愛や喜びで溢れていて、その強い信仰や奉仕の心にとっても感

動しました。

4日間という短い滞在でしたが、実際にスラムに行き子どもたちと触れ合い、人々は私たちの想像以上に多くの支援を必要としている、“私に何ができるのか”と自分の生き方を考えさせられる、とても意味のある時間となりました。

現地の人々は本当に“救い主”を必要としています。彼らの一人でも多くが神様のことを知り、苦しい生活の中でも愛・希望・喜びをもって生活できることをお祈りしています。

神様、たくさん協力して下さった皆様に変な感謝しております。ありがとうございました。



メトロのスタッフは、フィリピンの人々も立ち入らないような極貧地域にどンドン入っていきます。バラックのひしめく合間に作られた迷路のような道を通って、毎週家庭訪問をしています。

メトロ・フィリピン視察ツアーご案内

お申し込みのメ切は、3月5日(月)です。

フィリピンの現地視察ツアーの日程が確定しました。

アメリカより、日程的にも金額的にも大変参加しやすいと思いますので、ぜひご検討ください。参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。お申込用紙をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、8日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。

お知らせいただきたい内容

- ①お名前、
- ②ご連絡先のお電話番号、
- ③ご住所、
- ④ご参加人数、
- ⑤メールアドレス

ツアー日程

4月5日(木)	日本出発(関東方面、時刻未定)
4月5日(木)	マニラ着(現地時間、時刻未定)
4月6日(金)	メロ・スタッフ・ミーティング参加
4月6日(金)	子ども訪問または現地活動に同行
4月7日(土)	道端教会学校参加
4月8日(日)午前	礼拝参加
4月8日(日)午後	マニラ出発(現地時間、時刻未定)
4月8日(日)夜	日本着・解散(関東方面、時刻未定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

*ツアー代金は、10万円前後、参加人数によって変動します。
*お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配をお願いします。

*現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。

*ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。

日本事務所からのお知らせとお願い

里親募集中です！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。先月からは、若いご夫婦による、コロンビアでの働きも始まりました。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

フィリピンスタッフ来日 現地報告会開催！

メトロ・フィリピンスタッフのハンナさんが来日します。

ハンナさんは、現地で日々働きをし、スタッフの研修も行っております。日本育ちのアメリカ人ですので、皆様に現地での活動を日本語でご報告すると共に、皆様からのご質問にも日本語でお答えすることができます。

日程は6月3日～17日までで、10名以上お集まりいただける場合は、日程を調節してできる限りお応えできるようにいたしますので、ご希望の日時と場所をお知らせください。

会場のご準備は、皆様でお願いします。

ビル・ウィルソン師 日本セミナー開催！

すでにお知らせしましたとおり、ビル・ウィルソン師が6月末から7月9日の日程で来日予定です。

教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、できるだけ早くご連絡ください。

ブルックリンのスラム街で、無謀とも思える働きを始め、40年足らずで世界規模の働きにまで成長できた信仰の秘訣は、全ての人々の人生の歩みに大きなヒントを与えます。

ぜひご自分の地域での開催の実現のために、ご協力ください。

日本事務所よりごあいさつ！

皆様のお祈りとご支援により、昨年のクリスマスのイベントOHHが、今まで以上の大成功を収めることができ、心から感謝しています。

ビル先生の働きが制限される中、メトロにとって初めての試練の時でしたが、この成功によってビル先生はじめ全員が、スポンサーの皆様のご支援の力を実感し、働きを進めてくださる主に感謝しました。

ビル先生はすでに通常通り活動し、今年の日本ツアーで皆様にお会いできるのを楽しみにしています。開催のご希望がございましたら、すぐにご連絡をお願いいたします。また、必ずお近くのセミナーにご参加ください。

ご支援に心から感謝し、皆様の上に主の圧倒的な祝福と恵みをお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン